

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	石川県羽咋市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	市内獅子舞等の伝統芸能を活用した地域活性化推進計画		
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>羽咋市は、加賀・能登・越中の地理的な交差点であり、歴史的に見ても、多様な文化を受け入れた地域として知られる。とくに、市内の各集落単位で伝えられている獅子舞は、県内でも珍しい「能登獅子・加賀獅子・越中獅子」の3系統の混成地域とされ、この地域の特殊性を物語る。また、集落間においても同じ能登獅子系・越中獅子系であっても演目等の内容に差異があり、類似はあっても同じ演舞はなく、地域の郷土芸能の詳細かつ総合的な把握が求められている。</p> <p>さらに、近年では、この獅子舞を担う地域の若衆の減少が深刻で、祭礼時に獅子舞を実施できず休止する集落も見られ、その保存と継承、地域の活性化は大きな課題となっている。</p> <p>計画は、平成23年度に策定した「第5次羽咋市総合計画」の基本目標である「いきいきと人が輝くまちづくり」「活気と魅力のあふれるまちづくり」「市民が主役となるまちづくり」に資するものと位置づけ、平成27年度から平成30年度の期間で実施する。</p> <p>対象となる文化財は、市内各所の祭礼で行われる獅子舞等とし、これを地域アイデンティティの重要な構成要素として位置づけ、その現状等の総合的把握とともに保存と継承に資する諸活動を展開する。そして、その成果の周知・公開を基本とした、多くの住民が参加可能な交流普及事業を展開することで、市内の獅子舞文化を通じた地域の活性化を推進し、地域の現状を互に見直し、持続可能な保存・継承・活用のための体制構築を目指す。</p> <p>また、上記にかかる諸事業を、実行委員会を主体とする市民との協働により実施することで、郷土の歴史と文化の価値を再確認しながら互いに共有し、将来的な市内文化財の総合的把握に向けた一助とする。最終的には、地域に親しまれる伝統芸能である獅子舞の文化財保護の達成を目的とする。</p> <p>計画は、当面、平成27年度からの4か年の継続事業を当初設計とし、以下の取り組みを実施する。</p>			
1、地域の文化遺産次世代継承			
(1) 市内獅子舞等に関する調査研究事業			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町への獅子舞の聞き取り調査を実施し、現状の把握、過去の経過を把握する。(H27～H29)</li> <li>・成果は調査報告書、パンフレット等として印刷・刊行する。(H30)</li> </ul>			
(2) 市内獅子舞等に関する情報発信事業			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEBサイトの制作による市内獅子舞の情報発信と運営。(H27作成済み 更新随時)</li> <li>・Facebookを活用した情報発信と情報交換・交流の場の設置と運営。(H27作成済み 更新随時)</li> </ul>			
(3) 市内獅子舞等を活用した交流普及事業			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽咋市歴史民俗資料館を活用した成果の公開。企画展示、特別講座、出前講座と上映会などの交流普及事業の開催による獅子舞を通じた交流の場づくり。(H27～H30)</li> </ul>			
2、伝統文化継承基盤整備			
(1) 市内獅子舞等に関する映像記録作成事業			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町の獅子舞の全演目を可能な限り撮影した「各集落版」映像記録の作成による正確な保存。(H27～H30)</li> <li>・普及用「ダイジェスト版」映像も作成し、交流普及事業の場において活用し、情報発信ツールとする。(H27～H30)</li> </ul>			
(2) 市内獅子舞等に関する後継者育成事業 (H28～H30)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町での獅子舞を従来かつ本来的な姿で継承するための講習会を実施する。祭礼時に獅子舞を担う青年団・保存会などの青壮年層および小中高の若年層が、高齢層から再度習い直すことで、適切な継承を図るとともに、獅子舞を通じた3世代間交流をはかる。</li> </ul>			
(3) 市内獅子舞等の用具等整備事業 (H28～H30)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の破損や経年劣化により旧来の状態での獅子舞の実施に支障をきたしている団体に対し、適切な修理・新調等を行うことにより、持続可能な獅子舞団体の育成と継承をはかる。</li> </ul>			
<p>上記により、第5次羽咋市総合計画の基本目標の各項目のうち「生涯学習の推進と市民文化の創造」、「地域固有の歴史・文化の継承と活用」、「協働によるまちづくりの推進」を達成するよう取り組む。</p>			
※第5次羽咋市総合計画（抜粋）については、別添のとおり。			

**6 実施体制**

羽咋市が、本実施計画に係る全体の企画調整および各補助事業に係る指導等を行う。  
 主な担当課、役割は下記のとおりである。

羽咋市教育委員会文化財室	補助事業者との連絡調整、文化財の取扱い等に関する指導等
羽咋市歴史民俗資料館	交流普及事業等に対する施設の提供等に関する協力・連携
羽咋市教育委員会生涯学習課	公民館等の市内施設や地区住民等の協力に関する協力・連携
羽咋市商工観光課/秘書室広報担当	事業周知等に関する協力・連携

補助事業は、次の団体が実施する。

はくい獅子舞保存活性化実行委員会

会長：宮谷敬哉 および役員。構成団体（市内各町の獅子舞保存会、青年団等）

**7 実施計画における目標と期待される効果**

別紙①のとおり

**8 補助事業の概要**

(1) 補助金額

～平成28年度交付決定額： 11,193 千円

平成29年度申請額： 4,577 千円

(2) 実施事業の概要

別紙②のとおり

**9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）**

① 調査研究事業

聞き取り等による情報収集により、これまで石川県（1986）と羽咋市歴史民俗資料館（2009）が実施した調査成果よりも詳細な成果が得られる。同時に、地域で保存されている古い獅子舞用具等の新たな郷土資料の発見も期待でき、この成果の取りまとめにより、市内の獅子舞文化の探究と総合的把握が推進される。

② 映像記録作成事業

市内獅子舞の映像による現代的かつ正確な記録保存が進むと同時に、交流普及事業にも活用可能な記録媒体を得ることができ、市内の獅子舞文化の探究と総合的把握が推進される。

③ 情報発信事業

WEBサイトやFacebookページを最大限に活用し、市内の獅子舞の特殊性や魅力を発信することが可能となるほか、事業成果に関するインターネット上での反応と交流人口を把握することができる。

④ 用具等整備事業

破損・経年劣化した獅子舞用具の修理・新調等により、地域の伝統芸能である獅子舞の適切な保存と継承に資することができる。

⑤ 後継者育成事業

獅子舞の歴史・経過・本来的な演舞とお囃子の技術が高齢層から青壮年層および若年層へと適切かつ正確に伝承され、保存・継承・活用のための体制構築が推進される。さらに、3世代間交流の場とすることで、各集落の伝統芸能への愛着心および一体感が醸成され、地域活性化への契機となる。

⑤ 交流普及事業

市民である実行委員会および保存団体等が、本計画の地域の獅子舞を通じた交流普及の場に参画することにより、市民協働によるまちづくりが達成されるとともに、各事業への参加者が獅子舞を通じて地域を楽しく見直し深く知ること、各集落の伝統芸能への愛着心および一体感が醸成され、地域活性化への契機となるほか、伝統芸能や文化遺産に対する関心や意識が向上する。

⑥ 羽咋市歴史民俗資料館の博物館機能の強化と入館者数の増加

上記が、羽咋市歴史民俗資料館を活用して実施されることで、収集・保存・整理・展示・普及といった博物館の諸機能が強化されるとともに、市民が博物館を活用する機会が増加し、市民の学習・文化活動の支援が達成され、入館者数の増加につながる。

⑦ 市民協働による第5次総合計画の基本目標の達成

実行委員会を主体とする市民との協働により事業を実施することで、地域の文化遺産である伝統芸能「獅子舞」の保存と次世代への継承が推進され、行政と市民・団体等との相互の協力・連携による人材活用と体制構築が期待される。以上は、第5次羽咋市総合計画に定めた基本目標の達成に資するものである。

⑧文化遺産を活かした地域活性化の他事業への寄与

本事業で得られた獅子舞に関する映像記録・調査結果等の成果が、市内・市外における商工・観光分野をはじめとする地域活性化に取り組む他事業に波及し、資料提供・意匠採用・アドバイス・コラボレーションが実現することで、文化遺産（市内獅子舞）を活かした地位活性化・まちづくりへの寄与が達成される。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	一般財団法人神道文化会の「神道芸能普及費」の助成を得る予定。本事業の映像記録作成委託の事業費にかかる実行委員会の自己負担金（自主財源）に充当する予定。
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
<p>本事業の実施により、獅子舞を通じた地域固有の歴史・文化への愛着心の向上が図られ、行政と地域・住民の協働による文化遺産を生かしたまちづくりへの機運の醸成と体制構築が推進される。本計画の目標達成を足掛かりに、獅子舞を担う若者層も取り込みながら獅子舞以外の文化財への視野を拡大し、より総合的な文化遺産の悉皆調査へ発展的に事業展開したいと考えている。平成31年度に本事業の総括をおこない、平成32年度から3カ年をめどに市内文化財の総合的把握調査事業を開始し、その成果をもとに歴史文化基本構想の策定を目指す。</p>	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	羽咋市教育委員会 文化財室